

想いが伝わる！人を動かす言葉を創る AI言語化トレーニング

目的	・ 自然と言語化力が伸びていくようなAIの使い方を身につける ・ 仕事で自分の想いを言語化できるようになる ・ 人が動く伝え方を身につけ、信頼を得られるようになる
対象	・ 「AIが話題だけど、いまいち活用できている気がしない」方 ・ 「もやもやした想いをうまく言語化できず、伝わらない」方 ・ 「どのAIを使っても『なんか違う』答えしか返ってこない」方 ・ 「AIの言う通りばかりで、自分の意見を出せているか不安」な方 ・ 「いざプレゼンで、言葉に詰まり、相手に行動してもらえない」方 ・ 「テンプレートを学ぶばかりでAI活用できている実感がない」方 ・ 「自ら使い方を作れるAI中級者へとステップアップしたい」方
得られるもの	・ 自然と言語化力が伸びていくようなAIの使い方が身につく ・ 言語化のメカニズムを理解し、想いを言葉にできるようになる ・ 日常からAIを使いつつ言語化力をトレーニングできるようになる ・ AIに自分を奪われない自分の意見の育て方がわかる ・ どんなAIも使いこなせるための「思考軸」の育て方がわかる ・ AIに代替されない、人間らしい感性の磨き方がわかる ・ 想いが伝わり、人を動かすために必要な言葉の型がわかる
実践例	・ 期間中に3回のセッションで実施、途中に実践期間を挟む ・ 上記セッションを1日で実施
形式	対面もしくはZoomによる実施
持ち物	・ パソコンから利用できるAI環境 ・ スマートフォンから利用できるAI環境 ※上記はどちらかがあれば大丈夫ですが、どちらもあると効果が上がります ・ ノート（筆記用具） ・ ペン（赤・青・緑の3色）★色にご注意ください

想いが伝わる！人を動かす言葉を創る AI言語化トレーニング

プログラム内容

第1セッション

AI活用して言語化力を高めるロードマップ

- ✓ なぜ、AIを使うと言語化力がなくなるのか？
- ✓ なぜ、AIの回答が「なんか違う」と感じるのか？
- ✓ 言語化のメカニズム：3つのステップ
- ✓ AIを活用するための3つの思考法
- ✓ AIを使いこなすためのマインドセット
- ✓ AIの前に、自分の思考を整える「Boxジャーナル」

職場実践 ※実施する場合

第2セッション

AI言語化トレーニングの3つのステップ

- ✓ なぜ、AIを使える人とそうでない人がいるのか？
- ✓ 1：「まず言ってみる」勇気が脳を活性化させる
- ✓ 2：「感覚を味わう」ことだけが言語化力を育てる
- ✓ 自由な感性を解放する「Cジャーナル」の技術
- ✓ 3：「言葉を決める」と言葉に想いが乗る
- ✓ 言語化に必要な「リズム感」を磨く3つのワーク

職場実践 ※実施する場合

第3セッション

AI時代に想いが伝わる！人を動かす言葉を作る3つのポイント

- ✓ なぜ、AIも人も、思ったとおりに動いてくれないのか？
- ✓ 相手に響く状態を創る「アクト(ACT)ジャーナル」
- ✓ AI時代に信頼を築く！伝わる資料作成術
- ✓ 言葉を「できる化」すると人は動ける
- ✓ 「ストーリー化」論理を越えた感情があるから人は動く
- ✓ 表現を「動作化」して相手を身体から動かす

講師：渡辺 拓氏 (株式会社Wonder Zero 代表)

行動ノート「アクトジャーナル」開発者。『生きるためのデザイン思考』著者。社会人向け教育プラットフォーム「Udemy」でWeb講座を展開、受講者は16万名を超える。「スキルはそのままだと、実践で使えない」と自身で苦労した体験を元に「楽しく、わかりやすく、実践しやすい」講座スタイルが人気を博し、トップ3%の企業向け優良講座にも多数選出履歴がある。AIを活用しながら思考を伸ばす「AI思考軸」を提唱。レノボやパナソニック・コネクタなどの企業でも、AIを活用しながらキャリアと向き合う講演を行う。

